

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月13日

事業所名 ことばの教室 ことのは2号館

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		訓練等の目的に応じて部屋が分かれている	
	2	職員の配置数は適切である	7		利用者と1対1にて対応を行っている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		周りを見ない、又は周りを見ながらでも危機的予知ができない児童が角や壁にぶつかっても怪我が無いようにクッション材を付けている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		キャリアプランシートを作成・記入を行い管理者と定期的に面談を行っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		7		今年度開所にて、今後より改善につなげていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		7		今年度開所にて、今回より集計し公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1	定期的にスーパーバイザーとして視察が行われ助言・指導を受けている	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		終礼時に児童の支援についてを共有している	
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		現在KIDSを使用しているが、次年度より他検査を導入予定	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		終礼にてその都度確認を行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		発達の最近領域に基づいた療育を行う様にしている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の提供	16	7			
	17	7		終礼・議事録などにて確認し役割分担に備えている	
	18	7		毎回の終礼に確認を行っている	
	19	7		言語聴覚士により訓練の内容を記入している	
	20	7		半年毎にモニタリングを行う事で内容を共有し、見直しを検討している	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	7			
	22	7			
	23	7		必要に応じて訪問看護事業所との連携を行っている	
	24	7		上記同様	
	25	7		送迎時や定期的なモニタリングや担当者会議にて情報共有を行っている	
	26	7		上記同様	
	27	7		運動保育士等資格取得の援助がある	
	28		7	利用児の兄弟児等の関わりはあるが共に活動を行うことは無い	
	29	1	6		
	30	7		送迎時や電話等で言語聴覚士が保護者へ報告を行っている	
	31	4	3		関わり方については日々の様子をお伝えしているがプログラムとしては取り組んでいない

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明を行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5		保護者会の実施は無いが、送迎時には家族観交流はできている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		必要に応じて管理者や言語聴覚士が行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2	ブログ等を定期的に更新している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		情報流出防止の為に行動を共有しており、個人の携帯にて活動の様子を撮影しているが、就業前にその都度削除している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		職員間にて情報の共有を行いコミュニケーションにつなげている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		行事等はほとんどない
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		マニュアルを作成しており、確認を行っている
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		半年毎に実施しており、その都度振り返りを行っており今後は不審者訓練を行う予定	避難訓練の曜日が決まっている為、他の曜日に設定する等の検討が必要
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	食事提供は無いが情報のやり取りは保護者と行っている	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		その都度ヒヤリハットを作成し会社全体にて共有し対処を行っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
心	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		議事録や終礼にて情報を共有し、どこからが虐待なのかについて話し相談を終礼にてケースを出して対処している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		現在、抱きしめたり、隔離をするなどの対象児童はいないが必要時には計画立案を行う(虐待研修を受けた管理者が全職員に周知している)	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。